



拝見は先頃所訪問
 年終の儀よりおめでとう
 答礼を本年暫く
 におき雨雲別封日本
 東を説自抄と題する文
 書と踏之為先可抄と書
 何れ公衆より一紙存候
 若し餘り望まざらば
 嫌ふが貴社の新聞の
 餘白に所掲載可候所
 若し不適宜なら甚々
 為らば先拂えの返稿
 多謝、錦城君も以
 道に節を以て傳
 幸哉、

十二月二日

其々

錦城 卿 君





様事存先地所訪問
 幸甚之由乃ありて由
 答礼を呈し奉る所
 一介重由中別封日本
 衆を説自折と題す文
 ありと踏之為是し於者
 何れ公衆より存存
 若し餘之堅也ささの
 嫌ふが是所の新聞の
 餘白を掲載せられた
 若し本通吉永の甚受
 名も先拂はは匹稿
 多終、錦城君も以
 道之節より一傳
 吉終、
 十二月三日
 世系、
 錦城卿
 終人

